

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
<p>○学校像・・・子どもにとって楽しい学校 ・児童が登校を待ちわびる学校・児童の可能性を伸ばす学校・美しく安全で落ち着いた学校 ・人権教育が根ざした学校・授業改善, 共同研究を進める学校・地域や保護者に信頼される学校 ○子ども像・・・つよく やさしく かしこく ・心身ともに健康で, 物事を最後までやりぬく子ども・豊かな感性をもち, 思いやりのある素直な子ども ・自ら進んで学び, 創造力豊かな子ども ○教員像・・・信頼される教師 ・教育公務員としての自覚を持ち, 教育に対する強い使命感を持つ教師 ・豊かな専門性・人間性, 指導力を旨とし, 研修に励む教師・児童や保護者, 地域に信頼される教師</p>		<p>①正しい学習規律・態度の定着 ②自主的な学習の習慣</p> <p>①相手意識をもった挨拶や返事, 言葉遣い ②遅刻者の減少</p> <p>①懇談会への参加者の少なさ ②業務改善の取組の工夫</p>	<p>①物構えや心構えに伸びが見られないので, 今後も繰り返し指導を行う。児童が正しい学習規律や態度について具体的に捉えることができるように, モデル提示や資料活用を図っていく。 ②自主学習に関して取り組む内容や方法を周知し, 少ない回数から実施していく。また, どのような学習内容を選択すればよいか分かるように, 資料提示を行う。</p> <p>①キーワードをもとに指導の仕方を統一するとともに, 学校公開アンケートであいさつの項目を設定し, 客観的な判断を得られるようにする。また, 1学期中は挨拶に関するめあてにするなど, 根気強く指導を行っていく。 ②保護者に対して, 学校全体の学力や生活習慣の状況(遅刻に関する内容を含む)に関する情報を提供していく。 ③SCやSSW等と連携しながら, 児童と家庭への働きかけを行い, 登校への意欲を喚起していく。</p> <p>①懇談会参加への呼びかけを繰り返し行うとともに, 懇談会の内容について検討を行い, さらなる充実を図る。 ②ICT環境整備に伴う業務改善の工夫について, 教師の研修を行い, 教職員個々の実態に応じて業務の効率化を図ることができるようにする。</p>
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
基礎的な学力の向上を図る。	児童の実態にあった指導の工夫により, わかる学習の効果がえられるか。(観察評価, 児童アンケート80%以上)	①実態に合わせた指導の工夫やICTの活用等による授業形態の工夫を行うことにより, 子どもたちは, 達成感を感じ, 学びに向かう気持ちが高まってきている。学力も高まってきている。 ・教師評価…100%(指導の工夫) ・児童評価…92%(内容理解)	
	学習規律・態度を定着させる取り組みをし, 基礎的な学力の向上が見られるか。(学校評価75%以上)	②学習規律に関する指導を継続して行っていることで, 学習にもたいへん落ち着いて取り組むことができるようになってきている。また, 計算マスター等, 基礎学力の定着に向けた取組も行い, 学力向上を図っている。 ・教師評価…100%(取組), 77%(定着) ・児童評価…91%(定着)	
	読書活動や各教科において, 言語活動の指導を工夫しているか。(学校評価75%以上)	③読書活動においては, 学校長のリーダーシップの下, 子どもたちが進んで本を手取る環境づくりができています。また, 言語活動の指導の工夫として, 学習の終わりに必ず振り返りを記述するようにしており, 子どもたちが自らの思いや学びの足跡を発信することができています。 ・教師評価…92%(指導の工夫) ・児童評価…85%(言語活動に対する意欲)	
基本的な生活習慣の確立と望ましい人間関係の構築を図る。	家庭学習の定着が見られるか。(児童アンケート80%以上)	④家庭学習については, 大部分の子どもに宿題の習慣は定着しているが, 自主学習に取り組むまでには至っていない。 ・教師評価…100%(工夫), 89%(定着) ・児童評価…93%(宿題), 57%(自主)	
	縦割り活動の充実を図ることで, 児童の主体性や達成感の高まりが見られるか。(児童アンケート85%以上)	①縦割り活動では, いろいろな教員が関わったり, 他学年との交流を行ったりすることができるので, 子どもたちや教員は達成感を感じることができている。また, 主体性においては, 集会活動や学校行事への取組が効果を発揮しているといえる。 ・教師評価…100%(指導) ・児童評価…95%(意欲), 88%(関心)	
	挨拶・返事・言葉遣いの指導を徹底し, 望ましい人間関係をつくらうとする姿勢が定着した。(学校評価75%以上)	②担任以外からは児童が挨拶をしているように見えるが, 担任としては, すれ違った際にする挨拶や言葉遣いには課題が見られると感じている。また, 言葉遣いについては, 他人を傷つけるような言葉が発している児童がおり, 今後も継続的に指導を行っていく必要がある。 ・教師評価…82%(指導), 45%(定着) ・児童評価…92%(定着)	
保護者や地域及び外部機関との連携を図るとともに教職員の働き方改革を進める。	いじめ・不登校防止に向けた指導を徹底しているか。(学校評価75%以上)	③個に応じた指導や家庭・関係機関等との連携を図ることにより, いじめや不登校を防止するよう心がけた。しかし, 不登校傾向の児童はいる。 ・教師評価…92%(いじめ防止), 77%(遅刻者減少・不登校防止)	
	遅刻者減少に向けた取り組みができていくか。(昨年度比)	④個別の声かけや家庭との連携により, 遅刻者は減少したが, 遅刻をする子が決まっているので, そのような子どもへの対応が課題として挙げられる。 ・教師評価…77%(遅刻者減少・不登校防止) ・児童の実態…255人減少(昨年度比)	
	参観・懇談会等を充実させるための工夫をしているか。(学校評価75%以上)	①学習参観においては, 児童の活動と学びの姿が見えやすくなるような授業づくりの工夫を行っている。懇談会については, 時制を変更して時間を15分延ばし, 保護者が興味をもつような工夫をしているが, 仕事をしている人が多く, 参加率の向上には至っていない。 ・教師評価…100%(工夫)	
外部機関と理解と協力, 連携を図る取り組みの充実を図っているか。(学校評価75%以上)	②SSWやSCと連携を図り, 情報を共有しながら様々な案件に対応することができている。 ・教師評価…86%(取組の充実)		
定時退校日や業務改善の取組の充実を図っているか。(学校評価70%以上)	③教職員の働き方改革を推進するために, 行事の日程や運営方法を見直したり, 働きやすい職場となるように環境整備を行ったりしている。 ・教師評価…74%(個々の取組), 67%(ICT活用), 87%(資料等の共有・活用)		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<p>○ 計算マスターや読書活動の環境づくりなど, 児童の基礎的な学力の向上を図る取組が工夫されており, 大変有り難く思っている。 ○ 読書活動の充実のために, 読んだ本の感想を書いて発表するなどの活動を取り入れることもよいと考える。 ○ 縦割り活動の充実を図ることができており, 児童同士がよりよい人間関係を構築することができつつある。しかし, 自分の考えや感情を表現することを苦手としている児童や言葉遣いの粗暴さが見られる児童がいる。そのような児童への取組の工夫が求められる。 ○ 学校と保護者, 地域の連携を図るための取組を行っていただいているが, 現状では物足りない部分もある。今以上に保護者や地域との連携を密にしながら教育活動の充実にも努めていただきたい。 ○ 決められた宿題以外にも, 家庭での学習に進んで取り組むことができるように, 自主学習の方法等を示していただけると有り難い。 ○ 公民館としても, 児童のためにできることを模索しながら, 少しでも学校教育にお力添えをしたいと思っている。</p>			